

## R8.3.17 後期終業式 校長講話「TEAM EFFORT」

「先輩の姿から学んだことを生かして新しいクラスで頑張りたい」  
(1年生) 「ケガのリハビリや生活委員長へのチャレンジをがんばった」 (2年生) 「地域貢献イベントに取り組むことで、学習の大切さに気付いた」 (3年生)

3人とも今年の実験を活かして、来年度の新たなモチベーションにつなげていました。

これから、この1年間、皆さんとともに追究してきた「誰もが幸せを感じることができる TEAM 飯網」を実現するためには、どうすればいいかという「問い」についてまとめをしたいと思います。

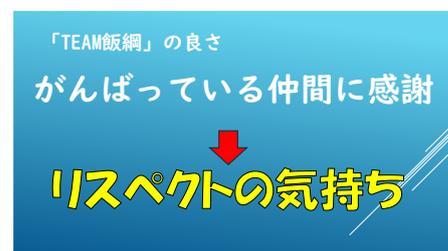


これは、アメリカのメジャーリーグで活躍した大谷翔平選手が、今年の MVP を獲得したトロフィーです。トロフィーの下には MVP を称えるメッセージが書かれています。その上に大谷選手はあるメッセージを掲げました。そこには「TEAM EFFORT」と書かれています。この言葉の「チームの成果」という意味があります。

この言葉の意味について大谷選手はインタビューで、次のように語っています。「この賞は、みんなを代表してもらっています。僕がもらいましたけど、本当にここに来るまでの3試合が一番大きかったなと思います」

この言葉は、大谷選手は自らの活躍を自慢するのではなく、チームメイト全員への感謝の気持ちを示したのです。大谷選手のこの行為が、チームの仲間への感謝を示すメッセージとして伝わり、その後、ドジャースがワールドシリーズを制覇したことは、皆さんも知っての通りです。

チームとは、メンバー全員が同じ目的・目標をもつ集団です。チームには、いろいろな人がいます。だから、多くの人が幸せを感じていても、幸せを感じられない人もいます。そこで、TEAM 飯網の目標「誰もが幸せを感じることができる」を達成するためには、同じ目標に向けて頑張っている仲間へ感謝する（リスペクト）の気持ちが必要です。



全員が自分の個性をどう生かすか共に考え、実行する中でひとり一人の良さが生かされたり、苦手なことをカバーし合ったりすることでお互いのモチベーションが高まり、予想以上の EFFORT (成果) を生み出すことにつながるのです。

先週行われた三年生を送る会では、各学年の出し物、歌声から在校生から卒業生へ、卒業生から在校生への感謝の気持ちがあふれていました。それが、全校で幸せを共有する時間を作ったと感じました。私は、ひとり一人の「感謝」(飯網中では、これをリスペクトと読んでいます) この気持ちこそが「誰もが幸せを感じることができる TEAM 飯網」をつくると思っています。

令和7年度も残すところ明日の卒業式だけとなりました。「TEAM 飯網」で心をこめて卒業生を送りましょう。

そして、春休み。健康や交通事故に気を付けるとともに、自分から行動することを心掛け、充実した春休みを過ごして、4月の新しいチームでのスタートに備えて欲しいと思います。